

# 第1回分科会活動報告

日時：2011年 5月13日（金）13時00分～17時00分

場所：富士通トラステッド・クラウド・スクエア 世界貿易センタービル30階

出席者：40名

記録者：平石 泰介（東海大学）

## 1. 配付資料

- 1) 2011年度第1回第二分科会プログラム
- 2) 2011年度第二分科会出欠名簿
- 3) フォーラム運営委員会からのお知らせ
- 4) 第二分科会活動計画案
- 5) Campusmate-Jのご紹介
- 6) 懇親会会場のご案内
- 7) 2011年度総会の開催について（ご案内）

## 2. 研究活動内容

### 1) 全体会 13時00分～13時25分

- (1) 幹事より開催挨拶、運営委員挨拶
- (2) 2011年度第二分科会テーマ、研究活動、年間スケジュール説明
- (3) 討議資料アンケートについての協力依頼
- (4) 討議メモ作成についての協力依頼
- (5) フォーラム運営委員よりCS研ホームページと過去の資料入手方法説明、Campus Watching掲載写真提供についての協力依頼
- (6) 事務局より2011年度総会についてのご案内

### 2) ご紹介「Campusmate-Jのご紹介」 13時25分～14時15分

富士通株式会社文教ソリューション事業本部文教第二ソリューション部  
プロジェクト部長 二村氏

1990年より基幹系（教職員向け）クライアント・サーバ「Campusmate」パッケージ製品を提供し、2002年以降は「Campusmate-J」でサービス系（学生ならびに教職員向け）を展開してきた変遷が紹介された。

本年4月にリリースされた「Campusmate-J V3」の機能強化ポイントとして、便利で操作性の高いWeb機能の提供や、大学の規模に応じた業務効率化実現などの要求に対応するため、今までのパッケージより「業務に強く」・「学生サービスに視点」を置いたことが強調された。具体的には、サービス系機能はインターンの学生からリスニングした結果を反映させたデザイン性の向上や操作性の向上、業務系システムの機能は履修取消や抽選機能、簡易的なカリキュラム設定機能の提供などが挙げられている。

機能の紹介と実演後、質疑応答が行われ、以下の内容が二村氏から回答された。

- ・学生に成り変わって操作する「代理操作」について、代理ログオンで閲覧、操作ともに可能である。
- ・スマートフォン向けサービスの展開について、ブラウザ（照会系）の準備を行っている段階であるが、アプリケーションについては未定である。
- ・カレンダーの他機能との共有について、レイヤー毎で共有が可能である。
- ・キャビネット機能について、基幹系から5階層程度の権限設定が可能である。
- ・校友会や同窓会関連のサービス展開について、卒業生ポータルはないが、父兄向け機能は「Student View」で提供している。
- ・震災の影響や対策について、クラウドなどのサーバ移管で安全性は向上するが、アプリケーションを含めて考えると費用面で課題が残る。

### 3) 討議（座長：千葉（関東学院大学） 記録者：太田（学校法人日本体育会））

14時30分～16時05分

テーマ：「教務システム運用上の問題点とは」・「震災時における対応について」

当初の予定を変更して、東日本大震災発生時に各大学がとった初動対応、安否確認などを紹介し、危機管理についての情報を共有した。

#### ◎システム上の問題

- ・計画停電中のサーバ対応
- ・仮サーバを設置して対応
- ・サーバ増設予定遅延。
- ・サーバはD P Sが使用できず、対応したら計画停電終了
- ・サーバの上げ下げに時間がかかった。
- ・U P Sを取り入れたが動作確認は取れていない。
- ・遠隔授業に影響が出るので対応を検討中。
- ・キャンパスによって計画停電の対象地域と対象外地域があるので混乱。

#### ◎安否確認方法

- ・事務職員による電話での確認。（震災後の土日出勤）
- ・メールで一斉配信。1週間を過ぎても返信のない学生には電話連絡。
- ・ポータルシステム入力機能を使用し8割を確認、残りは電話。
- ・東北地方の学生を対象に電話で確認。
- ・学科毎に教員が対応。温度差があり、事務が行えば対応早かった。
- ・ポータルで確認。ツイッターを利用した教員がいた。
- ・携帯用サイトのお知らせ機能、Yahoo サイト（大学で持っている）、ツイッターを利用。
- ・安否確認システムにより、携帯に一斉配信され把握。

#### ◎震災当日の対応。その他

- ・職員は学生、帰宅困難者の対応のため泊って対応。
- ・食堂を開放し、シュラフを100名分準備して対応。
- ・東北地方からの受入れ100名ほど宿泊施設を開放出来る事を文科省へ報告
- ・電車が動いてから、大学のバスで駅まで送った。

- ・帰宅困難者の受入れ、非常食の配布

◎震災被害

- ・研究室の本が書棚から落下。
- ・図書館の修復に5億。
- ・海側の校舎は地割れ、液状化現象があり。

◎震災後の授業開始時期について

- ・2週間遅れで授業開始のため、GW中に1日、補講でカバー
- ・3週間遅れ。
- ・5月2日から授業開始。

◎震災後の履修について

- ・5学部中、2学部がOCRでの履修。3学部はweb履修。
- ・4月下旬から5月13日まで
- ・5月6日から履修開始
- ・通常授業開始の1カ月遅れで開始。時間に余裕が出来たので落ち着いて履修が出来た。
- ・履修に向けての準備を検討する必要がある。
- ・カリキュラムは4年間で何が出来るのかを検討する必要がある。

◎その他

- ・夏に向けて窓のある教室は使用しない。
- ・外国人は半数以上が国に帰ったまま戻ってこない。
- ・卒業式・入学式は中止。
- ・計画停電の対応を夏に向け、計画案を作成。

4) 施設見学「富士通トラステッド・クラウド・スクエア内」 16時15分～17時00分  
以 上

